

真名川水辺の樂校プロジェクト



福井県 奥越土木事務所

地域整備課 田中沙緒里

「真名川水辺の樂校」

- 平成13年1月 一級河川真名川の赤根川合流部一帯の河川敷が「水辺の樂校プロジェクト」として登録を受ける。



真名川の水辺環境の現状（着工前）



着工前の状況（平成14年8月撮影）

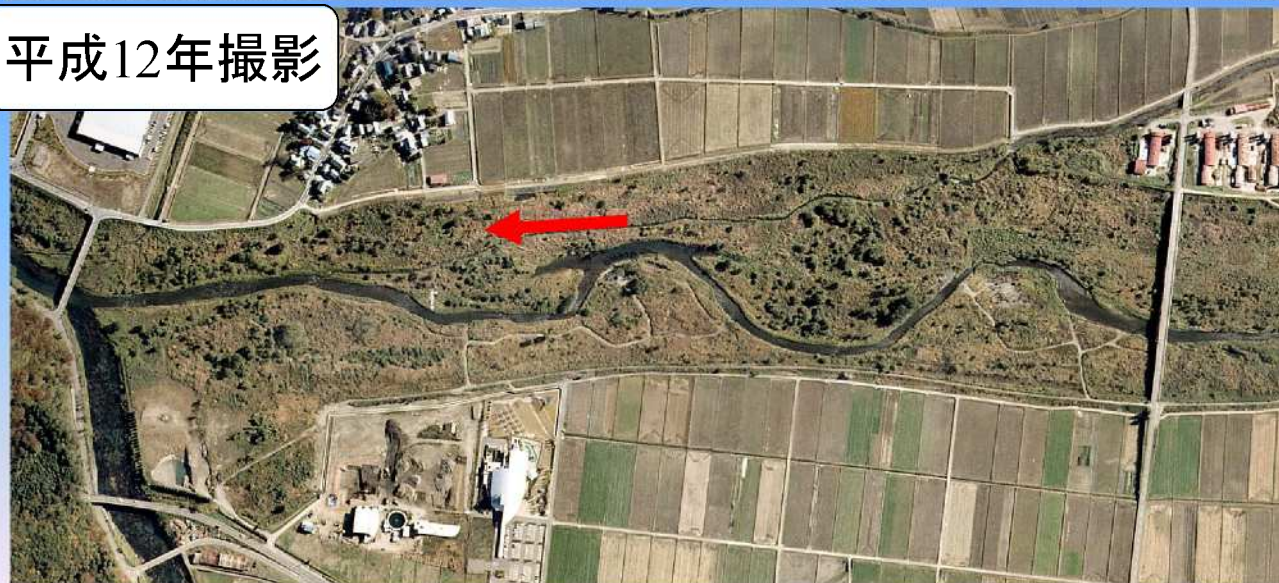
真名川の水辺環境の現状（変遷）

昭和22年撮影



・白河原が広く分布している

平成12年撮影



・植生が繁茂し、緑に覆われている

実施計画の策定

基本理念

真名川水辺の樂校は
「ふるさとの川・真名川の魅力ある水辺の復元」をめざします

基本的方針

生き物のすむ場
にしよう

ふれあう、遊ぶ、
学ぶ、育てる場
にしよう

安心して豊かな場
にしよう

導入施設

瀬と淵の創出
せせらぎ水路・池の創出

白河原の創出
中州の保全・創出
湧水池縁部の整備

小川(小水路)の整備
池の整備

遊歩道, 散策路の整備
アクセス施設(飛び石の設置等)

アクセス拠点, 休憩施設の整備
休憩広場の整備

四阿, ベンチ, サインの設置

現況植生(倒木, ヤナギ, 貴重種)の保全・活用

協議会委員

区 分	所 属
学識経験者	(社)淡水生物研究所 所長
//	OASIS協会代表
学校関係者	下庄小学校 教頭
//	森目小学校 教頭
地域住民代表	南新在家 区長
//	土布子 区長
//	このもとカジカ村代表
//	大野市漁業協同組合 組合長
行政関係者	福井県土木部河川課参事
//	福井県大野土木事務所 所長

「真名川水辺の楽校」計画にあたっての住民参加

- 基本理念・基本方針・実施計画策定にあたり学識経験者・学校関係者・地域住民等からなる協議会を設置し、研究会や現地ワークショップの開催を行い**実施計画(白河原の再生や水辺へのアクセス施設)**を策定



協議会における計画策定の様子



研究会の様子

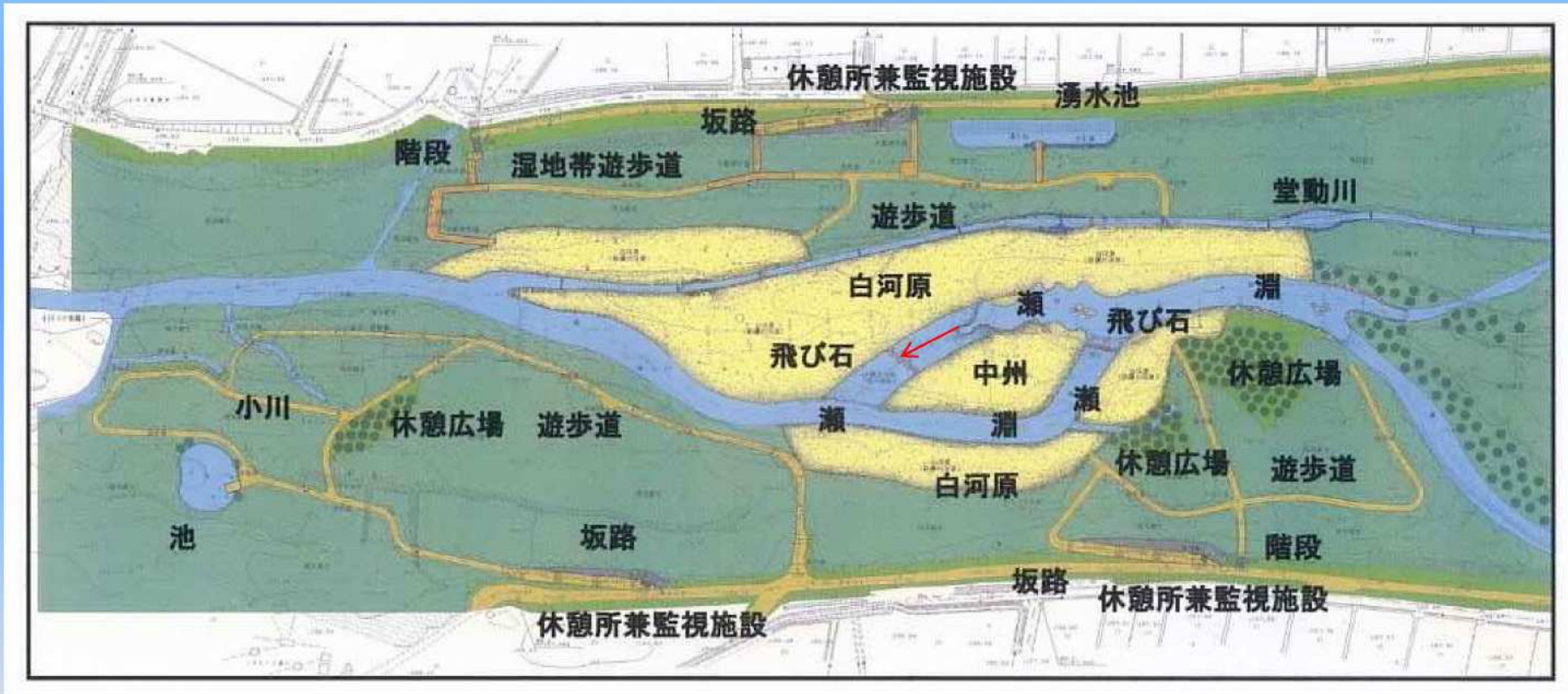


ワークショップに関する記事
日刊県民福井(H14.11.3)



現地ワークショップの様子

基本計画平面図

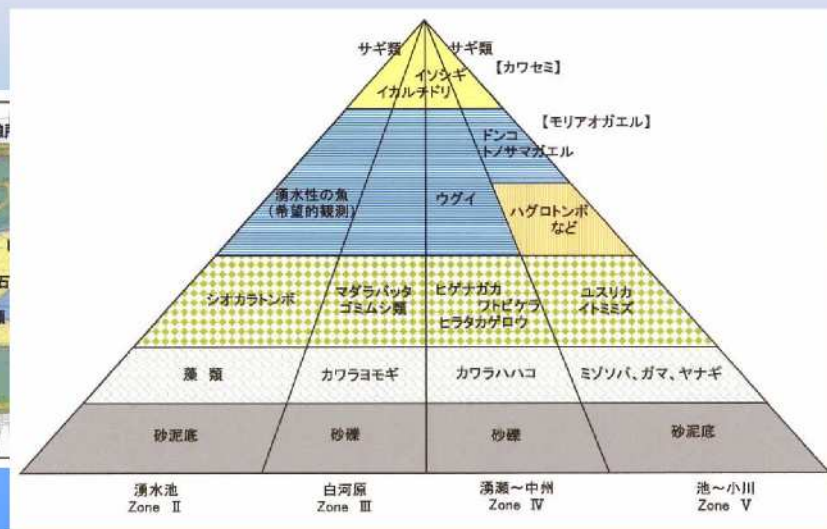


整備状況①

白河原の魚



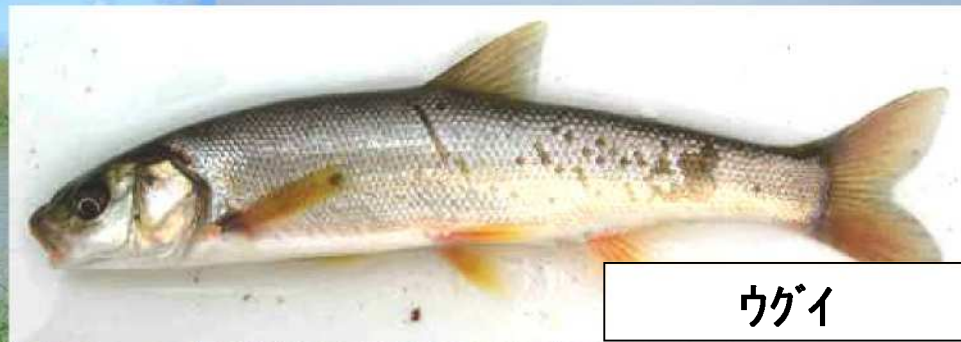
ヒゲナガカワビケラ等
水生生物



整備後



カワラハハコ



ウグイ



整備状況②

湧水池の拡張および遊歩道の設置



整備前

整備後

ハイカモ
環境省(絶滅危惧Ⅱ類)
福井県(絶滅危惧Ⅱ類)



ミクリ
環境省(準絶滅危惧)
福井県(準絶滅危惧)

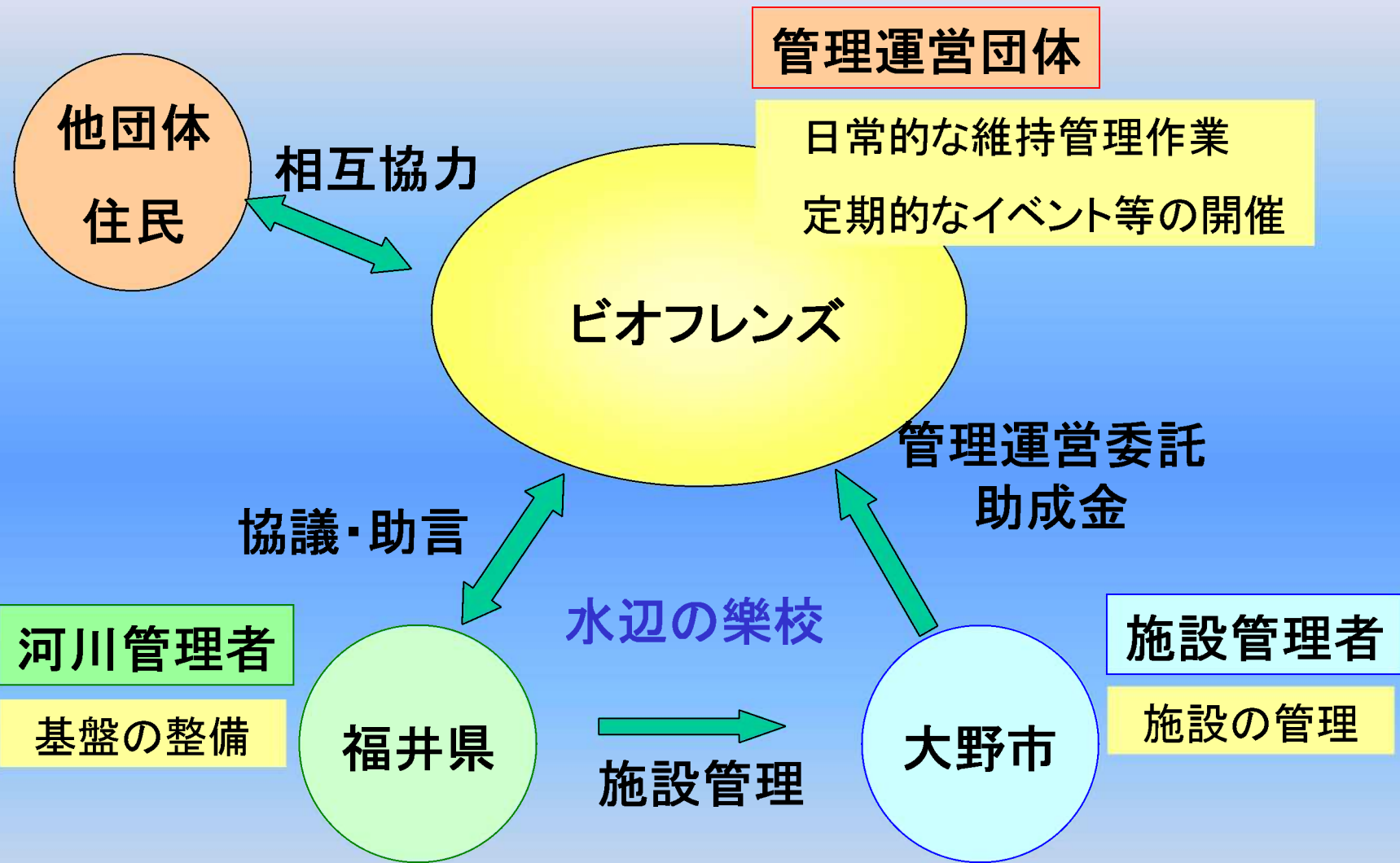


イチョウウキゴケ
環境省(絶滅危惧Ⅱ類)

整備状況③

既存植生 生物に配慮し 遊歩道を





維持管理計画（役割分担）

項目	細項目		実施主体		
			福井県 (河川管理者)	大野市 (施設管理者)	ビオフレンズ (管理運営団体)
日常的な維持管理	遊歩道沿いの草刈	遊歩道		実施	企画・指導 実施
	施設の美化	トイレ等		清掃・ゴミ回収運搬処理	実施
	パトロールの実施				実施
	ゴミ、草等の除去			運搬・処理	収集
	施設の修繕	軽微なもの		実施	企画・実施
治水機能の維持管理	浚渫	河道内	実施		
	高木の伐採	堤外地	実施		
	施設の修繕	重大なもの	実施		

水辺の樂校利用状況



水遊び、水生生物の採取H22.8.22



水生生物研修H22.8.2



水生生物観察会H22.10.6

現在の状況①

植生の繁茂が著し



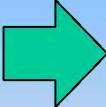
オオバコ

整備後 H18年6月

現在 H22年11月



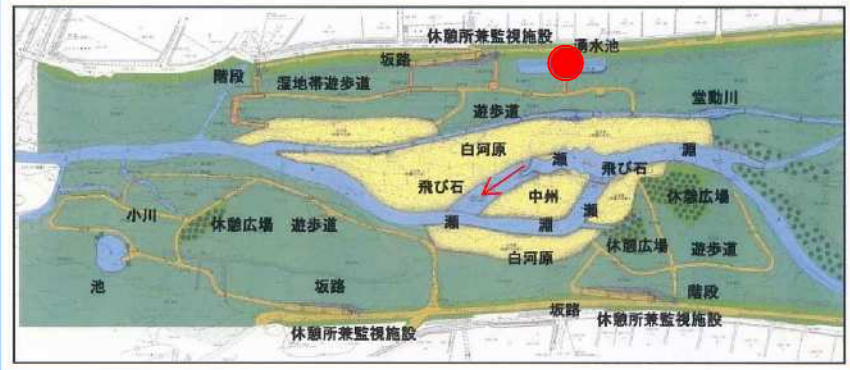
スベリヒユ



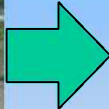
スズメカビラ

現在の状況②

植生の繁茂が著しい



整備後 H18年11月



現在 H22年11月



現在の状況③

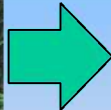
植生が繁茂、歩道部は残っている



整備後 H16年9月



現在 H22年11月



今後について

○課題

- 白河原の維持が非常に困難。
- 植生の繁茂が著しい。

○今後について

- 白河原の維持管理手法について協議が必要。

END

ご清聴ありがとうございました。